
小山町観光振興計画

(2021～2025)

令和3年 3月

小山町

目次

第1章 観光振興計画について	1
1 観光振興計画策定の趣旨.....	1
2 計画策定の基本的な考え方.....	1
3 計画期間.....	2
第2章 小山町観光の現状と課題	3
1 新型コロナウイルスの影響と課題.....	3
2 「富士山」と「金太郎」を核とした誘客.....	3
3 おもてなしの環境整備.....	3
4 幅広い視点での誘客.....	3
5 スポーツ・ツーリズムへの展開.....	4
第3章 基本構想	5
1 基本目標.....	5
2 基本方針.....	6
3 体系図.....	7
第4章 基本計画	9
基本方針1 富士山交流観光プログラム.....	9
基本方針2 元気にぎわい観光プログラム.....	15
基本方針3 観光インフラ整備プログラム.....	22
第5章 計画推進について	27
1 基本的な考え方.....	27
2 推進体制.....	28
3 プログラム.....	29

第1章 観光振興計画について

1 観光振興計画策定の趣旨

- ・観光立国を掲げる国の政策の下、多くの市町村で観光振興に向けた取り組みがなされており、本町においても、首都圏に近い優位性を活かし、町内及び富士山周辺地域と連携した観光振興に取り組むことが必要と考えます。
- ・本町を取り巻く状況は、少子高齢化などによる人口減少や商業機能低下などにより地域の活力が衰退していることなどから、厳しい状況が続いています。一方、富士山の世界文化遺産登録をはじめ、2つの道の駅の整備、東名高速道路足柄サービスエリア（以下、足柄SA）へのスマートインターチェンジ（以下、SIC）の設置や、今後、新東名高速道路の開通、（仮称）小山パーキングエリア（以下、小山PA）へのSIC開設など、地域活性化のきっかけとなる要素があります。
- ・本町では、町民が将来にわたって希望と誇りをもち、また、来訪者とも満足感を共有しあえる町づくりに取り組んでいくため、行政や観光業者だけではなく町民全体が主役となる観光の推進を目指して、平成25年3月に小山町観光振興条例を定めました。「小山町観光振興計画」は、この条例に基づいた計画であり、多くの町民や事業者の協力と理解を得ながら、幅広い視点で本町の活性化を捉えて、今後の観光振興の基本的な取り組みをとりまとめたものです。

2 計画策定の基本的な考え方

(1) 観光振興条例に基づく

観光振興の実現に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、小山町観光振興条例（第8条第1項）に定める計画です。

(2) 総合計画をひまえる

第5次小山町総合計画（前期基本計画：2021年度～2025年度）を上位とした計画です。

(3) 幅広い分野の「交流」の要素をもつ

「観光」として捉えていく分野が、ビジネスでの来訪者やスポーツイベントの参加者など「交流」の要素を含む幅広い分野として定着しつつあることから、計画に記載する分野も幅広いものとなっています。

(4) 広域的な視点をもつ

富士山を取り巻く市町村や箱根方面など、広域的な取り組みが重要視されていることから、計画内容にも広域的視点を反映しています。

(5) 協働で取り組む

観光振興の推進に際して、行政、観光協会、商工会、団体・NPO、観光関連事業者、住民などがそれぞれの役割を担いながら、目標を共有し、共に力を合わせていく協働の取組みを示した計画です。

(6) 計画指標をもつ

観光交流客数を指標とし、目標値を設定した計画とします。

※観光交流客数(観光施設・各種イベントへの入込数、宿泊人数の計)

3 計画期間

2021 年度～2025 年度(5ヶ年計画)

第2章 小山町観光の現状と課題

1 新型コロナウイルスの影響と課題

- ・町内の観光施設は大打撃を受けています。各種観光イベントは軒並み中止となり、令和2年の夏は有史以来初めて富士山の開山も見送られました。
- ・来町者の激減により、町内飲食店や宿泊施設の売り上げが壊滅的レベルまで急落しており、関連する町内の各種産業も大幅な収入減に見舞われています。
- ・今後徐々に回復すると見られる観光需要を念頭に、インバウンドに軸足を置いたこれまでの施策を一旦見直し、国内及び近隣からの客も積極的に取り込む新たな観光戦略を展開する必要があります。

2 「富士山」と「金太郎」を核とした誘客

- ・世界文化遺産である富士山には、国内外から毎年約4万人の登山者が訪れてきました。しかしながら新型コロナウイルスの影響により、山小屋や登山道などにおける密状態を避ける方策など、大きな課題に対処しなければいけません。
- ・また五合目駐車場から登山道への動線、待避所不足、多言語対応の情報提供などの問題を解決する必要があります。
- ・金太郎生誕の地としてプロモーションを展開し、元気で力強い金太郎のイメージを町外にPRしていきます。

3 おもてなしの環境整備

- ・コロナ渦で激減した外国人観光客の訪日が徐々に回復することを見据え、標識やパンフレットなどへの外国語表記の拡充、Wi-Fi環境の整備などを継続的に実施していく必要があります。
- ・観光交流に関わる方以外にも、来訪者に温かな「おもてなし」の心で接する町民意識の醸成が必要になってきます。
- ・恵まれた自然環境や歴史文化、四季折々の風景などを観光の魅力として発信し、集客に繋げていく着地型観光の取り組みを強化していく必要があります。
- ・新たに整備される新東名高速道路や国道138号バイパスによる交通利便性向上を好機と捉え、2つの道の駅も含めた交通基盤の活用が必要です。

4 幅広い視点での誘客

- ・山梨県や神奈川県など周辺の観光地とあわせて旅行する多くの来訪者のため、県境を越えた周辺自治体とも連携する広域の観光施策を展開していく必要があります。
- ・小山町のフィルムコミッションが携わるロケは年間100件を超えており、今後もロケ地を活用した観光誘客を促進していくことが必要です。

5 スポーツ・ツーリズムへの展開

- ・スポーツを通じて交流人口を増やしていく観光のあり方が注目され、近隣の自治体においてもスポーツ施設の整備や宿泊機能の向上などの取組みが進められております。本町においても夏季を中心に合宿などの需要があります。
- ・豊かな景観や起伏の多い地形を目指すサイクリストの来訪が多くなっています。また、富士スピードウェイやふじあざみラインを利用した自転車大会が開催されています。
- ・今後は周辺自治体との連携を取り入れながら、地域の資源を活かしたスポーツ・ツーリズムを展開していく必要があります。
- ・年間60万人が訪れる富士スピードウェイから、町への周遊及び消費活動へとつなげる取組みが必要です。
- ・町内11箇所のゴルフ場は、首都圏からの交通アクセスが良好で変化に富んだレイアウトを有し、どのコースもプレーヤーを飽きさせません。また、全てのゴルフ場から雄大な富士山を望むことができます。この恵まれた条件を活かし、宿泊ゴルフパックや学生向けゴルフ合宿の企画、ゴルフ利用以外でもレストランを観光ツアーの食事場所に活用してもらうなど、周辺の宿泊施設や観光施設と連携した新たな取組みに着手する姿勢が望まれます。
- ・ウィズコロナの観点から、宿泊施設とゴルフ場が協力して独自のコロナ対策ガイドラインを作成し、これをクリアした施設を双方で積極的にアピールして集客に繋げていくような仕組み作りが必要です。
- ・増加傾向にあるトレッキング客に対し、富士箱根トレイルの魅力をPRしつつ、標識やトイレを整備し、人気のあるトレイルコースに成長させる必要があります。
- ・東京2020オリンピック・パラリンピック自転車ロードレースのゴールとなる富士スピードウェイや周辺道路をオリンピック・パラリンピックレガシーと位置づけ、更なるサイクリストの来訪を促す取組みを打ち出していく必要があります。

第3章 基本構想

1. 基本目標

“「安心・安全・快適」の追及”

“富士を楽しみ金太郎の元気を養う観光のまち おやま”

富士山が世界文化遺産に登録され、小山町は須走口登山道と富士浅間神社という2つの構成資産を有する町となりました。また、本町には「金太郎生誕の地」として金太郎にゆかりのある場所が多くあるほか、富士紡績の繁栄を今に伝える豊門公園や森村橋などの文化財、足柄城跡などの史跡、多くのゴルフ場や大型観光施設、2箇所道の駅、温泉もあり、観光資源に恵まれています。

最近では東名高速道路足柄 SA※1に SIC※2が開設され、今後は新東名高速道路の開通に併せて PA※3と SIC が新たに整備されることから、首都圏をはじめとする町外からのアクセスが益々向上します。また東京2020オリンピック・パラリンピック自転車ロードレースのコースが町内にも設定され、新たなホテル建設計画も複数持ち上がるなど、小山町が世界中から注目を浴びる機会が増えると同時に、来訪者の受入体制も拡充しつつあります。

しかしながら、令和2年3月以降新型コロナウイルスの感染拡大により、世界的規模で人々の往来を控える風潮になっています。事態の推移を慎重に見極めつつ、少しでも早く小山町に集う皆様が增えるよう、“安心・安全”な受け入れ体制の構築が不可欠です。更に、顧客がこれまでの団体客主体から個人や家族単位に変化する趨勢をふまえ、各々が求める旅の要望を出来る限り叶えられるような、きめ細かな観光サービスによる“快適”の提供或いは金太郎に象徴される“元気”を養うことのできる町を目指すことが重要です。

以上から展望が余りにも不透明な状況下においてその都度柔軟に対応できるよう、基本目標に将来の観光交流客総数を数値で示す従来の手法は敢えて踏襲せず、基本的な概念を目標として掲げることとしました。なお、この目標は情勢変化によっては設定期間中でも変更できることとします。

※1:サービスエリア ※2:スマートインターチェンジ ※3:パーキングエリア



2. 基本方針

昨今の新型コロナの世界的蔓延の状況を受け、観光の形態が大きく変化する状況にあります。要は万全な感染抑止対策のもと、安全・安心の中で地域の魅力を楽しんで頂くことに尽きます。本町の観光については基本的な方向性は変わりません。しかし、より地域本来の魅力を高め、より深く楽しんで頂ける地域としていく必要があります。

(1) 富士山交流観光プログラム

ウィズ・コロナ社会における観光対策を充実します。世界文化遺産である富士山の歴史文化、水と緑に恵まれた自然、抜群の景観を小山町のすばらしい観光資源として活用し、観光交流客数を増やします。

(2) 元気にぎわい観光プログラム

金太郎のように元気でにぎわいのあるまちを目指し、金太郎伝説などの地域文化、ゴルフ・自転車・自動車に係るスポーツ、道の駅や大規模リゾート施設など、様々な観光拠点施設や資源を活用し、観光交流客数を増やします。

(3) 観光インフラ整備プログラム

町の観光資源の魅力を最大限引き出すために、情報・交通基盤の整備や広域連携の推進、観光客の受け入れ態勢の充実など、観光インフラの整備を行います。

3. 体系図

基本方針 1

富士山交流観光 プログラム

- 施策 1 ウィズ・コロナ対策の推進
- 施策 2 須走口五合目を再整備します
- 施策 3 登山者などへの対応を充実します
- 施策 4 須走口五合目散策コース・富士箱根トレイルを活用します
- 施策 5 富士山の眺望スポットを整備します
- 施策 6 富士山巡拝の道づくりプロジェクトを進めます
- 施策 7 富士山の環境保全を観光振興につなげます
- 施策 8 美化活動を進めます

基本方針 2

元気にぎわい 観光プログラム

- 施策 1 金太郎をシンボルとした観光活性を図ります
- 施策 2 スポーツによる誘客を進めます
- 施策 3 農のある暮らしをにぎわいに活かします
- 施策 4 自転車による観光振興を進めます
- 施策 5 自衛隊との連携による観光振興を進めます
- 施策 6 観光拠点を活用します
- 施策 7 新たな観光スポットを整備します
- 施策 8 ハイキングコースを活用します
- 施策 9 ロケ地としての強みを活かし知名度を高めます

基本方針 3

観光インフラ 整備プログラム

- 施策 1 シティプロモーションの充実を図ります
- 施策 2 おもてなし人材による着地型観光を充実します
- 施策 3 インバウンドへの対応を強化します
- 施策 4 観光情報の基盤を整えます
- 施策 5 観光交通基盤を整備・活用します
- 施策 6 広域連携を推進します
- 施策 7 小山町ブランドの充実を図ります

■小山町ウィズ・コロナ観光ガイドラインの作成 ■ウィズ・コロナ観光施設環境整備の推進
■ウィズ・コロナキャンペーンの実施

■(仮称)富士山須走口インフォメーションセンターの設置 ■登山客導線の確保
■ふじあざみラインの道路改良の推進

■登山案内及び指導の強化 ■須走ルートの魅力の紹介 ■須走流登山スタイルの確立

■案内板の設置 ■散策ツアーの開催 ■富士箱根トレイルの管理 ■コースの魅力の情報発信
■トレイルコースへのアクセス向上 ■ガイド付き散策ツアーの開催 ■来訪時期や所要時間によるコース設定

■富士山眺望スポットの充実 ■案内看板の整備・案内マップの作成

■巡拝の道のルート・ポイントの整備 ■巡拝の道散策トレッキングプロジェクトの推進
■御師のまち須走プロジェクトの推進 ■”すばらしり隊”人材養成プロジェクトの推進
■富士浅間神社を中止とするお山開き・お山仕舞プロジェクトの推進 ■須走のまち景観の保全形成

■富士山と調和する景観づくり ■富士山における環境学習の場の提供
■マイカー規制の実施 ■富士山環境ツアーの開催

■富士山清掃の実施 ■登山者マナーの向上

■金太郎シンボルデザインを活用したPR ■金太郎商品のブランド化 ■金時公園の活用
■金太郎を活用した広域連携の推進 ■相撲大会の開催 ■金太郎伝説ゆかりの地のPR・紹介

■スポーツ大会などの誘致・拡充 ■スポーツツーリズムの推進 ■富士スピードウェイとの連携

■農産物の活用・農産物直売所の整備 ■農家民泊の試み ■農業体験の推進 ■林業体験の推進

■自転車大会の拡充 ■新たな自転車大会の開催 ■「サイクリストにやさしいまちづくり」の推進

■自衛隊イベントを通じた町のPR ■町内イベント等への参加依頼

■道の駅の活用 ■あしがら温泉等の活用 ■歴史文化遺産の活用

■ホテルの里づくり ■北郷の森の整備 ■リゾート宿泊機能の誘致 ■産業観光の提供

■足柄古道などの活用 ■市町村連携によるハイキングコースの活用 ■(仮称)おやま物語 100 選の作成・散策

■ロケ地の発掘・整備と活用 ■映画祭の開催 ■ロケの誘致

■旅行会社への観光資源の紹介 ■首都圏などで開催される展示会への参加

■観光ガイドの育成 ■次世代を担う人材の育成 ■小山町観光検定の実施 ■小山町観光親善大使の認定

■プログラムの開発 ■外国人観光客へのおもてなしの充実 ■外国語表記の充実

■総合的な観光情報の集約・管理 ■Wi-Fiスポットの整備 ■ネット予約・決済環境の整備促進 ■SNS や HP を活用した誘客戦略 ■小山町観光振興計画のアピール

■季節運行バスの利便性向上 ■小山PA /足柄SA周辺の整備 ■ユニバーサルデザイン化・観光サインの見直し

■広域ネットワークによる取り組みの推進 ■金太郎にちなんだ交流の活性化

■“小山町”をエリアとしてアピール・ブランド化 ■歴史文化のアピール ■道の駅・足柄SA・小山PAにおける販売促進・PR ■特徴ある商品を育成 ■インターネットを活用した販売促進 ■ロケ地を活用した特産品の販売促進
■ご当地グルメの開発

第4章 基本計画

基本方針1

富士山交流観光プログラム

施策1 ウィズコロナの観光施策

■小山町ウィズ・コロナ観光ガイドラインの作成

- ・町内の観光施設等における接客、設備等についての留意事項をガイドラインとしてまとめ、周知を図る。
また本町を訪れる観光客に対して求める配慮も明記するものとする。

■ウィズ・コロナ観光施設環境整備の検討と推進

- ・各施設において、ウィズ・コロナに係る施設改善などの長期的対応について検討し支援を図る。

■ウィズ・コロナキャンペーンの実施

- ・本町は安全・安心で楽しく訪問できる地域であることを、積極的にアピールし誘客を図る。

施策2 須走口五合目を再整備します

■（仮称）富士山須走口インフォメーションセンターの設置

- ・須走口五合目にある案内所の機能を見直し、登山者の避難や休憩、登山情報、一年間の富士山の姿の紹介、バス案内などの機能をもつ施設の設置を進めます。

■登山客導線の確保

- ・駐車場から登山口へのアプローチの改善を進めます。



須走口五合目からの富士山

■ふじあざみラインの道路改良の推進

- ・ふじあざみラインにおいて、大型観光バスの通行困難箇所の道路改良を推進します。

施策3 登山者などへの対応を充実します

■登山案内及び指導の強化

- ・登山道や気象情報など、登山に必要な情報を提供するため、Wi-Fi環境の整備を行います。
- ・安全な登山に向けた指導・啓発を実施します。

■須走ルートの魅力の紹介

- ・須走ルートは、東側に位置していることから、どこからでも御来光が見られ、森林限界が高く植生が豊かであり、砂走りがあるなど、魅力にあふれています。登山ガイドやパンフレット、標識などを通じてこれらの魅力を発信します。

■須走流登山スタイルの確立

- ・富士山信仰の歴史的・文化的な価値を後世に伝える富士浅間神社を参拝してから富士山に登る「須走流の登山スタイル」を情報発信します。

施策4 須走口五合目散策コース・富士箱根トレイルを活用します

■案内板の設置

- ・小富士やまぼろしの滝などを巡る散策路に案内板を設置し、来訪者を誘導します。

■散策ツアーの開催

- ・五合目来訪者を対象とした小富士やまぼろしの滝、シャクナゲなどを巡るガイドツアーを開催します。
- ・野鳥をはじめとした豊かな動植物を学ぶことのできる情報を整理し発信します。また、野鳥の会などの団体と協力して、観察ツアーなどを開催します。

■富士箱根トレイルの管理

- ・全長約43kmにわたる富士箱根トレイルの日常的な管理を継続するほか、トレイルの案内や管理に関わる団体、ボランティアの育成に取り組みます。

■コースの魅力の情報発信

- ・素晴らしい景観や、多様な植生を楽しみながら、安全に散策できるコースの魅力について、情報発信します。

■トレイルコースへのアクセス向上

- ・明神峠や足柄峠への交通アクセスを向上することでトレイルコースへの誘客を促し、富士登山以外の"眺める富士山観光"を推進します。

■ガイド付き散策ツアーの開催

- ・サンショウバラやブナ林などのコースの魅力を学びながら散策できるガイド付きツアーを季節ごとに開催します。

■来訪時期や所要時間によるコース設定

- ・約 43kmにも及ぶ富士箱根トレイルを様々な方に楽しんでいただくため、距離の短いコースや季節の植物を楽しむことのできるコースなどを設定します。
- ・トレイルを活用した健康づくりのプログラムを提供します。



富士箱根トレイル

施策5 富士山の眺望スポットを整備します



足柄峠から望む富士山



駿河小山駅から望む富士山



道の駅すばしりから望む富士山



北郷地区の田畑と富士山

■富士山眺望スポットの充実

- ・富士山の眺望スポットを適切に維持管理し、多くの方に訪れていただく様に効果的に情報発信します。



須走浅間神社付近から



誓いの丘 夜の様子

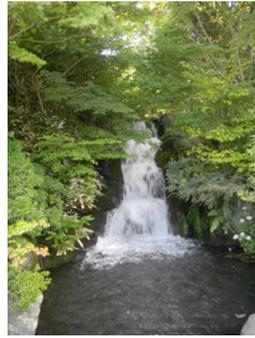
■案内看板の整備・案内マップの作成

- ・富士山の眺望スポットとなる地点を定め、駐車場や案内看板などのインフラ整備を進めるとともに、案内マップを作成します。

施策6 富士山巡拝の道プロジェクトを進めます



富士浅間神社



境内の湧水



■巡拝の道のルート・ポイントの整備

・平成30年3月の雪代により大きな被害を受けた須走口登山道のルートの整備を進めます。また町内で足柄峠から浅間神社までのコースの設定とPRを進めます。

■巡拝の道散策トレッキングプロジェクトの推進

・五合目における小富士やまぼろしの滝に至るコースの整備やPRの推進、須走地区内でのクアオルトコースとの連携、各ルートを活かしたイベントの開催を進めます。

■御師のまち須走プロジェクトの推進

・須走地区における宿泊・飲食・休憩施設の連携、山椒など地場特産品開発を含めた御師のまち須走の仕組みづくりとPRを行います。

■“すばらしり隊”人材養成プロジェクトの推進

・観光客などに須走の魅力を伝えおもてなしをできる人材の養成を進めます。このための講座の実施、須走御師の認定などを行います。

■富士浅間神社を中心とするお山開き・お山仕舞プロジェクトの推進

・富士山の登山期間の最初と最後に行われている神事に加え、須走地区や富士浅間神社をアピールするシンボルイベントとして位置づけ、一般客も参加できる旅行商品として仕立てること、適切なPRを行うことなどによりイメージアップを図ります。

■須走のまち景観の保全形成

・須走地区の顔となる本通りは地域の顔であり、風格ある景観形成を図ります。また周辺の自然景観の保全やそれと調和した街並景観の形成を図ります。

施策7 富士山の環境保全を観光振興につなげます

■富士山と調和する景観づくり

- ・須走口五合目の施設整備や道路整備に際して、周辺の景観との調和に配慮します。
- ・景観に配慮し、須走の門前地区の電線の地中化を推進します。

■富士山における環境学習の場の提供

- ・須走口の自然の豊かさなどを学べる機会を提供します。

■マイカー規制の実施

- ・マイカー規制を通して須走口の適正利用を推進するとともに、富士山の環境負荷の軽減に努めます。

■富士山環境ツアーの開催

- ・富士山に関する知識を深め、富士山を愛する心や環境保全の意識を育むことを目的とした富士山環境ツアーを開催します。

施策8 美化活動を進めます

■富士山清掃の実施

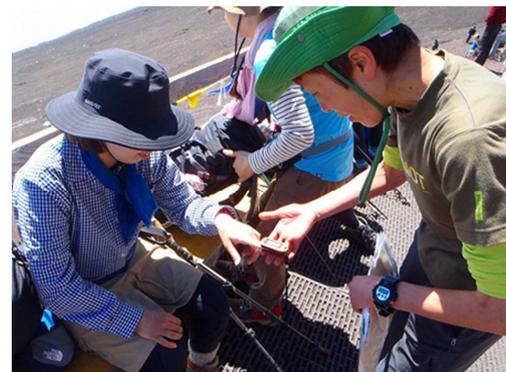
- ・富士山一斉清掃を行うとともに、環境美化の啓発に努めます。



富士山清掃活動の様子

■登山者マナーの向上

- ・富士山とその周辺の環境保全と安全な登山を促すため、登山者などに対し、パンフレットなどを活用した登山マナーの啓発に努めます。



登山ガイドによる啓発活動の様子

基本方針2

Ⅰ 元気にぎわい観光プログラム

施策1 金太郎をシンボルとした観光活性を図ります

■金太郎シンボルデザインを活用したPR

- ・町制 100 周年時に制定した金太郎シンボルデザインを公共の出版物や金太郎に関連する商品、報道映像のバックパネルなどへの掲出により、金太郎生誕の地である小山町をPRします。



金太郎生誕の地 おやま

金太郎シンボルデザイン

■金太郎商品のブランド化

- ・金太郎トマトや金太郎飴など金太郎に関連する商品をブランド化します。



金太郎を使った商品

■金時公園の活用

- ・整備した金時公園を新たな観光資源として有効活用していきます。



金時公園

■金太郎を活用した広域連携の推進

- ・金太郎をPRしている神奈川県南足柄市などの周辺自治体及び、JR東海や小田急電鉄などの事業者と連携し、金太郎をテーマとした列車の運行、イベント、商品開発、キャンペーンなどを実施します。

■相撲大会の開催

- ・昔話の中で、金太郎が熊と相撲を取っていたという逸話にちなみ、アマチュア相撲大会の誘致や、現在富士山金太郎春まつりでやっている子ども相撲大会の継続に取り組みます。

■金太郎伝説ゆかりの地のPR・紹介

- ・遊女の滝や沼子の池など、町内に残る金太郎伝説ゆかりの地を紹介するマップやインターネットサイトを充実させ、金太郎のシンボルである腹かけや鯉のぼりを観光やにぎわいづくりへ活用し、多くの方に「金太郎生誕の地おやま」をPRします。

施策2 スポーツによる誘客を進めます

■スポーツ大会などの誘致・拡充

- ・NPO法人小山町体育協会や民間事業者と協力して、スポーツ大会などの誘致・拡充を図ります。
- ・御殿場小山ゴルフ振興事業実行委員会と連携し、各種ゴルフ大会の開催誘致に努めます。
- ・様々なスポーツの催しを通じ、健康の大切さを内外に発信していきます。

■ゴルフなどスポーツツーリズムの推進

- ・富士山麓の環境の良さをPRすると共に施設情報を一元化し、町内11箇所のゴルフ場を活用した宿泊ゴルフパックやゴルフ合宿、既存施設を利用した陸上競技、サッカー等各種スポーツ合宿の誘致により、スポーツツーリズムを推進します。

■富士スピードウェイとの連携

- ・モータースポーツをはじめ、マラソン、自転車などのイベントに訪れる多くの方に対して、町内の温泉や観光資源をPRし、誘客につなげます。
- ・町を富士スピードウェイを中心としたモータースポーツのメッカとしていくために、町内の宿泊施設やモータースポーツに関係した施設の充実(観光地や観光施設での展示等も含める)を検討します。
- ・モータースポーツ協力会を組織し、富士スピードウェイを訪れたお客様におもてなしをすることでリピーターを増やします。
- ・モータースポーツ協会を組織し、FSWを訪れたお客様におもてなしをすることでリピーターの増加を図ります。



世界耐久レース (WEC)



スーパーヤマチャリ GP

施策3 農のある暮らしをにぎわいに活かします

■農産物の活用・農産物直売所の整備

- ・ワサビや水掛け菜など、小山町産農産物のPR、それらを活かした加工品の開発などを進めます。
- ・地元農作物の販売を拡大させるために、道の駅などの農産物直売所を充実させます。

■農家民泊の試み

- ・農業体験をしながら宿泊できる仕組みづくりを推進します。
- ・各種イベントと農家民泊の仕組みを結び付け、滞在型誘客の充実を図ります。

■農業体験の推進

- ・田植えや収穫体験、収穫した野菜の加工体験などのグリーンツーリズムの促進を図り、首都圏に近い優位性を活かした交流を創出します。

■林業体験の推進

- ・植樹や間伐、枝払いなどの林業体験を楽しむことのできる機会を創出します。

施策4 自転車による観光振興を進めます

■自転車大会の拡充

- ・ふじあざみラインや富士スピードウェイを活用した自転車レースの開催について、関係機関との協力を強化し、参加者の増加を図ります。



ツアーオブジャパンの様子

■新たな自転車大会の開催

- ・富士スピードウェイを始めとするオリンピック・パラリンピックのコースを活用した新たな自転車大会を開催します。

■「サイクリストにやさしいまちづくり」の推進

- ・フジサイクルゲートの設置(駿河小山駅前の旧観光案内所の活用)やサイクルラックの設置など、サイクリストに配慮した環境を作ります。



駿河小山駅前交流センター『FujiCycleGate』

施策5 自衛隊との連携による観光振興を進めます

■自衛隊イベントを通じた町のPR

- ・自衛隊イベントに集まる多くの来訪者に対し、特産品の販売やパンフレットの配布など、町のPRを行います。

■町内イベント等への参加依頼

- ・町内で実施するイベントの充実を図るため、自衛隊車両の展示や、富士学校音楽隊の出演、ボランティア支援など、自衛隊に参加を依頼します。

施策6 観光拠点を活用します

■道の駅の活用

- ・適切な施設管理を行い、多くの観光客が立ち寄りたくなる、より魅力溢れる場を目指します。
- ・指定管理者と協力し、町民も広く利用できる店舗形態を構築して地域活性化を図ります。



道の駅 すばしり



道の駅 ふじおやま

■あしがら温泉等の活用

- ・温泉施設として、適切な施設管理を行うとともに、地場産品販売などを通じ、町の魅力を発信します。
- ・町内にある温泉を観光資源として活用していく方策について、関係者との検討を進めます。

■歴史文化遺産の活用

- ・国登録有形文化財である豊門会館、西洋館などを擁し、ロケ地としても頻繁に活用されている場所である豊門公園について、適切な管理を行うとともに、イベントの開催など、町のPRに活用します。
- ・また、同じく国登録有形文化財である森村橋の保存と活用について検討します。



森村橋



豊門公園

施策7 新たな観光スポットを整備します

■ホテルの里づくり

・身近な環境の改善により、里山にホテルが飛び交う「ホテルの里」づくりを目指します。

■北郷の森の整備

・NPO法人北郷創林隊・町・県の三者が協働して森林管理している北郷の森を活用し、観光振興に結び付けます。

■リゾート宿泊施設の誘致

・富士山の抜群な景観と優れた自然環境に囲まれた立地の優位性を活かして、リゾート宿泊機能をもつ施設を誘致します。また、それらと連係した小山町の観光プログラムを提供します。

■産業観光の提供

・町内の企業などの協力を得て、工場見学など産業観光のプログラムを企画、提供します。

施策8 ハイキングコースを活用します

■足柄古道などの活用

・歴史的な街道である足柄古道などのハイキングコースを活用し、イベントやガイド付きツアーなどを通じて町内の歴史や自然を楽しむことのできる機会を提供します。



足柄古道

■市町村連携によるハイキングコースの活用

・バリエーションのあるハイキングが楽しめるように、隣接した南足柄市、山北町、山中湖村などと連携した広域的なコース設定を行います。

■（仮称）おやま物語 100 選の作成・散策

・町内の歴史、郷土資源、観光施設などに関する逸話などの更なる掘り起しにより、多くの物語を集めて、“（仮称）おやま物語”を作成します。

・ふるさとの魅力を歩いて楽しむことのできる散策プログラムを提供します。

施策9 ロケ地としての強みを活かし知名度を高めます

■ロケ地の発掘・整備と活用

- ・ロケ地めぐりツアーなどロケ地のPRによる観光振興を図ります。
- ・町内の撮影場所をまとめたマップを作成し、来訪者がロケ地めぐりを楽しめる環境づくりを進めます。
- ・ロケ地を特集した雑誌やインターネットを活用し、町内の撮影場所や撮影秘話などを紹介します。
- ・新たなロケ地の掘り起こしや撮影拠点の整備などを進めます。



古民家でのドラマ撮影の様子

■映画祭の開催

- ・映画祭を開催し町内外に町をPRします。

■ロケの誘致

- ・首都圏からのアクセスの良さ、富士山をはじめとする豊かな自然、田園風景などを活かして、国内外からのロケ誘致を推進します。

基本方針3

Ⅰ 観光インフラ整備プログラム

施策1 シティプロモーションの充実を図ります

■旅行会社への観光資源の紹介

- ・首都圏からの誘客を強化するため、旅行会社、出版会社などへの積極的なプロモーションを展開します。

■首都圏などで開催される展示会への参加

- ・首都圏などで開催される観光や食品などの展示会に町内企業などを募って参加し、町の観光施設や自然環境、宿泊施設、地場産品などをPRします。



2019年 TEJの様子

施策2 おもてなし人材による着地型観光を充実します

■観光ガイドの育成

- ・現在観光ガイドとして活躍している方の協力を得て、観光ガイド養成講座を開催してガイドを育成し、学ぶ喜び、知る喜びを求める来訪者への対応を充実させます。



ガイド 四季の旅人

■次世代を担う人材の育成

- ・中高生を対象とした観光ワークショップや観光ガイド体験などを通じて、次世代を担う人材を育成します。

■小山町観光検定の実施

- ・観光客をもてなす基礎知識として必要な町の観光資源を学ぶために、小山町観光検定制度を創設し、実施します。

■小山町観光親善大使の認定

- ・小山町観光親善大使を認定し、広く積極的なPR活動を展開します。

施策3 インバウンドへの対応を強化します

■プログラムの開発

- ・外国人観光客に向けた小山町らしさを活かすプログラム・ツアーを開発し、提供します。

■外国人観光客へのおもてなしの充実

- ・外国人観光客に対応するため、外国語の対応ができるガイドの育成を促進します。
- ・宿泊施設、飲食店、物販店、観光ガイドなどを対象として、外国人への接客や外国語を学ぶおもてなしセミナーを開催します。

■外国語表記の充実

- ・宿泊施設、飲食店、物販店などの掲出物、パンフレット、ホームページなどにおいて、外国語表記を充実します。



外国語表記の案内看板

施策4 観光情報の基盤を整えます

■総合的な観光情報の集約・管理

- ・観光に関する幅広い情報(インターネット・パンフレット等)について集約し、更新などの適切な管理を進めます。

■Wi-Fiスポットの整備

- ・観光客からの要望が多い公衆無線LANサービス「Wi-Fiスポット」の整備を官民協働で推進します。
- ・ワーケーションの普及に向けた環境整備を行い、これまでに無い新しい手法での誘客を進めます。

■ ネット予約・決済環境の整備促進

- ・宿泊施設、飲食店、物販店などにおいてネット予約・決済ができる環境整備を促進します。

■ SNS や町 HP を活用した誘客戦略

- ・観光客同士、又は町民も巻き込んで SNS を活用した各種交流を展開することにより、町への関心や知名度を高める戦略を進めます。また、町 HP へのアクセス内容を分析し、新たな観光施策に活かしていきます。

■ 小山町観光振興計画のアピール

- ・小山町観光振興計画を町及び観光協会のホームページに掲載し、計画自体の周知を図ります。

施策 5 観光交通基盤を整備・活用します

■ 季節運行バスの利便性向上

- ・登山バスやハイキングバスの利便性を高めるため、ルートやダイヤ、停留所位置などの見直しを図ります。

■ 小山PA/足柄SA周辺の整備

- ・本町の新たな玄関口となる小山PAのSIC周辺において、観光振興につながる土地利用を検討し、宿泊機能や商業機能などの充実に努めます。
- ・足柄SASIC周辺において、観光振興につながる土地利用を検討します。

■ ユニバーサルデザイン化など観光サインの見直し

- ・道の駅を始めとする町内の主要な観光拠点を適切に表示し案内できるサインシステムを検討します。
- ・観光施設や観光周遊ルート上にあるトイレや休憩施設、案内掲示板などについて、ユニバーサルデザイン化を進めます。



足柄駅前交流センター

施策6 広域連携を推進します

■広域ネットワークによる取り組みの推進

- ・表富士観光キャラバン、国道138号沿線観光広域連携協議会、富士山五口協議会など広域ネットワーク組織による取り組みを強化していきます。

■金太郎にちなんだ交流の活性化

- ・金太郎(坂田金時)にちなんで観光交流をしている、岡山県勝央町や京都府福知山市との連携を継続していきます。

施策7 小山町ブランドの充実を図ります

■“小山町”をエリアとしてアピール・ブランド化

- ・共通のロゴサインを導入します。
- ・各施設、各行事において統一ロゴを使用します。

■歴史文化をアピール

- ・富士山、金太郎、富士紡績の産業遺産といった歴史文化を顕彰しアピールしていきます。

■道の駅・足柄SA・小山PAにおける販売促進・PR

- ・道の駅(ふじおやま、すばしり)、足柄SA、小山PAに特産品販売コーナーを設置し、商品のPRを強化します。

■特徴ある商品を育成

- ・農産物や銘菓などの小山町ブランドの充実を図り、さらにプレミアムブランドを創設し、本町の特色ある商品をPRします。



水かけ菜の漬け物



金太郎トマト



小山町オリジナル商品(蕎麦焼酎「富士風」)

■インターネットを活用した販売促進

- ・商工会のホームページやFacebookなどのSNSを活用して、本町の特産品を全国の方々にPRするとともに、通信販売などの販路拡大を促進します。

■ロケ地を活用した特産品の販売促進

- ・町の特産品をロケで使用してもらい、商品の販売促進に活用します。

■ご当地グルメの開発

- ・現在、町にはご当地グルメと呼ばれるものが存在していないため、地域の農産物の活用、それらを使った加工品の開発等を行い、町内産の食材を活用した観光資源の一つとして発信していきます。

第5章 計画推進について

1. 基本的な考え方

- 行政や観光協会のみでなく、各種団体や住民などが協力して、小山町の新たな観光づくりに取り組んでいくことを重視します。
- 観光振興計画の実現に向けて、それぞれの取組みに関し、取組んでいく時期についての考え方をもち進めることを重視します。

短期:3年以内に取り組むもの
中期:5年以内に取り組むもの
長期:計画期間内に取り組むもの

- それぞれの取組み主体の努力を重視します。また、各主体間の連携を強化し、目標を共有し、共に力を合わせていく協働の取組みを重視します。
- 学生、子育て世代、年配者など、性別年齢を問わず常に幅広い視野を持ち、町民自身が楽しいと感じられる町を観光施策の視点から目指します。
- 観光プログラムの醸成にあたっては女性の視点も重要であることから、推進体制の中で女性の関与・参画を進めます。
- 事業の実施に際しては、必要に応じて小山町観光推進会議の意見を聴くものとします。

2. 推進体制

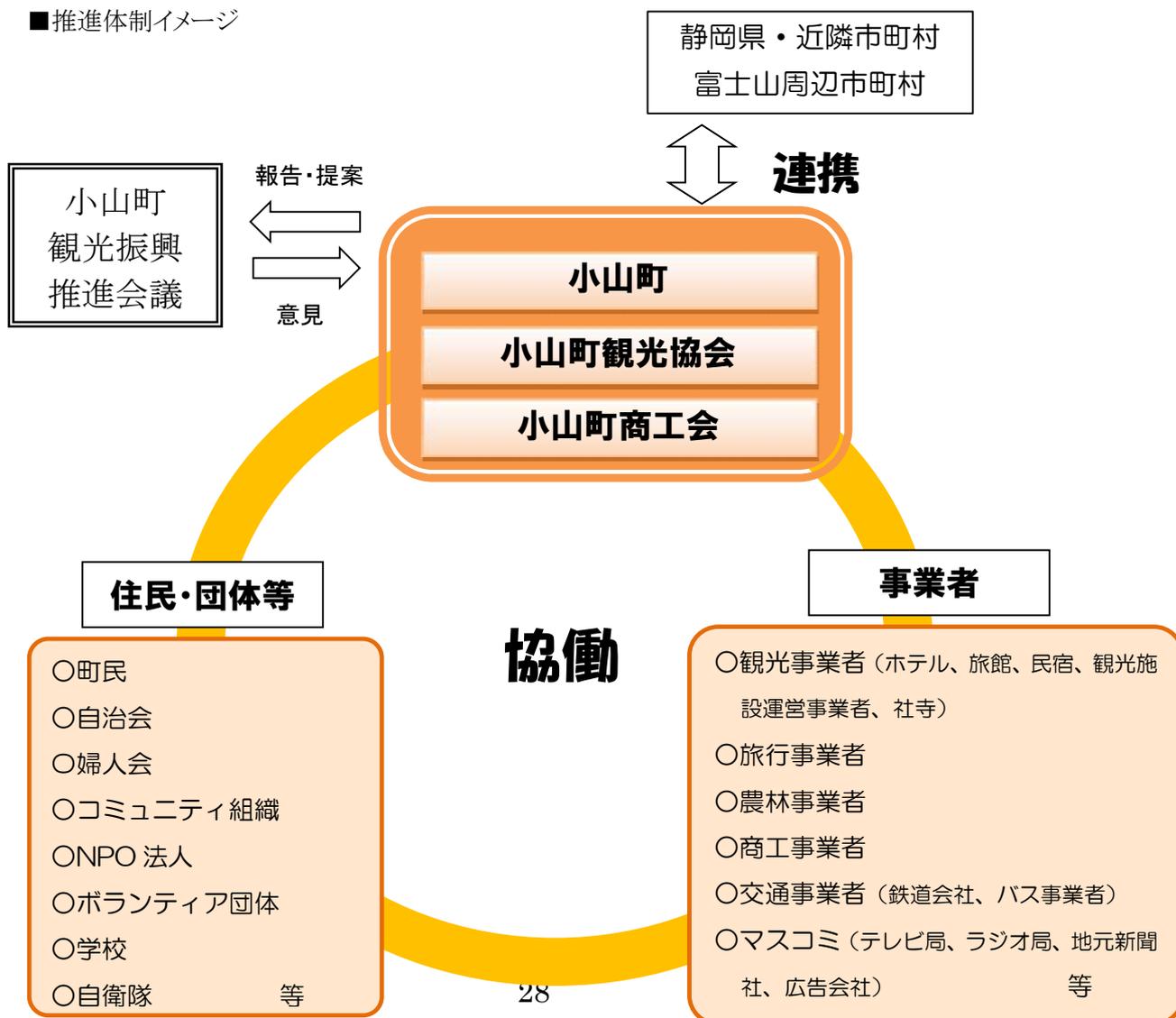
○小山町、小山町観光協会、商工会が中心となって、事業者（観光事業者、旅行事業者、農林事業者、商工事業者、交通事業者、マスコミ など）、住民・団体等（町民、自治会、コミュニティ組織、NP
○法人、ボランティア団体、学校、自衛隊 など）の協力を得て、関係主体の協働体制により、取組みを進めます。

《具体的な協働の場面》

- －観光に携わる関係者同士の情報交換や共有に留意し、協働の基礎を拡充します。
- －地域活動団体と観光関連事業者の協働による新たな旅行商品の開発や販路の拡大
- －農林事業者と民宿、マスコミの協働による新たな民泊商品のモデル的な取組み
- －観光協会とボランティア団体の協働による町内観光資源のメンテナンスイベントに向けた取組み
- －観光プログラム検討における女性参画の推進

○静岡県、富士山周辺市町村、近隣市町村（御殿場市、南足柄市、山北町、山中湖村、箱根町など）との連携による取組みを進めます。

■推進体制イメージ



3. プログラム

○計画に記述した取組みについてのプログラムは次のとおりです。

区分:継続(従来施策を継続・拡充して実施) 新規(新規に施策を実施)
 時期:A(短期) B(中期) C(長期)

基本方針	施策	取組み	区分	時期	主体				
					小山町	観光協会	商工会	事業者	住民団体等
富士山交流観光プログラム	ウィズ・コロナ対策の推進	小山町ウィズ・コロナ観光ガイドラインの作成	新規	A	○				
		ウィズ・コロナ観光施設環境整備	新規	A	○				
		ウィズ・コロナキャンペーンの実施	新規	A	○	○			
	須走口五合目を再整備します	インフォメーションセンターの設置	継続	A	○				
		登山客導線の確保	新規	A	○				
		ふじあざみラインの道路改良の推進	継続	A	○				
	登山者などへの対応を充実します	登山案内及び指導の強化	継続	A	○				
		須走ルートの魅力の紹介	継続	A	○	○			○
		須走流登山スタイルの確立	継続	B	○	○			○
	須走口五合目散策コース・富士箱根トレイルを活用します	案内板の設置	継続	B	○	○			○
		散策ツアーの開催	継続	A	○	○			
		富士箱根トレイルの管理	継続	A	○				○
		コースの魅力の情報発信	継続	B	○	○			○
		トレイルコースへのアクセス向上	新規	A	○				
		ガイド付き散策ツアーの開催	継続	A			○		○
	富士山の眺望スポットを整備します	来訪時期や所要時間によるコース設定	継続	B	○	○			○
		富士山眺望スポットの充実	継続	A	○	○			
	富士山巡拝の道づくりプロジェクトを進めます	案内看板の整備・案内マップの作成	継続	A	○	○			
		巡拝の道のルート・ポイントの整備	新規	A	○	○			○
		巡拝の道散策トレッキングプロジェクトの推進	新規	A	○	○			○
		御師のまち須走プロジェクトの推進	新規	A	○	○			
		“すばらしり隊”人材育成プロジェクト	新規	A	○	○			○
		お山開き・お山仕舞プロジェクト	新規	A	○	○			○
	富士山の環境保全を観光振興につなげます	須走のまち景観の保全形成	新規	C	○				○
		富士山と調和する景観づくり	継続	C	○				
		富士山における環境学習の場の提供	継続	B	○				○
		マイカー規制の実施	継続	A	○				
美化活動を進めます	富士山環境ツアーの開催	継続	B	○					
	富士山清掃の実施	継続	A	○					
	登山者マナーの向上	継続	A	○	○			○	

基本方針	施策	取組み	区分	時期	主体				
					小山町	観光協会	商工会	事業者	住民団体等
元気にぎわい観光プログラム	金太郎をシンボルとした観光活性化を図ります	金太郎シンボルデザインを活用したPR	継続	A	○	○	○		
		金太郎商品のブランド化	継続	A	○		○		
		金時公園の活用	継続	B	○				○
		金太郎を活用した広域連携の推進	継続	B	○				○
		相撲大会の開催	継続	A	○	○			
		金太郎伝説ゆかりの地のPR・紹介	継続	A	○	○			
	スポーツによる誘客を進めます	スポーツ大会などの誘致・拡充	継続	B	○	○			
		スポーツツーリズムの推進	新規	B	○	○			○
		富士スピードウェイとの連携	継続	A	○	○		○	○
	農のある暮らしをにぎわいに活かします	農産物の活用・農産物直売所の整備	継続	A	○				○
		農家民泊の試み	継続	C	○				○
		農業体験の推進	継続	A	○				○
		林業体験の推進	継続	B	○				○
	自転車による観光振興を進めます	自転車大会の拡充	継続	A	○			○	
		新たな自転車大会の開催	継続	C	○			○	
		「サイクリストにやさしいまちづくり」の推進	継続	A	○			○	○
	自衛隊との連携による観光振興を進めます	自衛隊イベントを通じた町のPR	継続	A	○	○	○		
		町内イベント等への参加依頼	継続	A	○				
	観光拠点を活用します	道の駅の活用	継続	A	○			○	
		あしがら温泉等の活用	継続	A	○			○	
		豊門公園等の活用	継続	A	○				○
	新たな観光スポットを整備します	ホテルの里づくり	継続	B	○				○
		北郷の森の整備	継続	B	○				○
		リゾート宿泊施設の誘致	継続	B	○	○		○	
		産業観光の提供	継続	A	○		○		
	ハイキングコースを活用します	足柄古道などの活用	継続	A	○				○
		市町村連携によるハイキングコースの活用	継続	A	○				
		(仮称) おやま物語 100選の作成・散策	継続	B	○				○
	ロケ地としての強みを活かし知名度を高めます	ロケ地の発掘・整備と活用	継続	A	○				○
		映画祭の開催	継続	A	○	○	○		
		ロケの誘致	継続	A	○				○

基本方針	施策	取組み	区分	時期	主体				
					小山町	観光協会	商工会	事業者	住民団体等
観光インフラ整備プログラム	シティプロモーションの充実を図ります	旅行会社への観光資源の紹介	継続	A	○	○	○		
		首都圏などで開催される展示会への参加	継続	A	○	○	○		
	おもてなし人材による着地型観光を充実します	観光ガイドの育成	継続	A		○			○
		次世代を担う人材の育成	継続	A	○	○			○
		小山町観光検定の実施	継続	B		○			
		小山町観光親善大使の認定	継続	A	○				
	インバウンドへの対応を強化します	プログラムの開発	継続	B		○		○	○
		外国人観光客へのおもてなしの充実	継続	B	○	○		○	
		外国語表記の充実	継続	A	○		○	○	
	観光情報の基盤を整えます	総合的な観光情報の集約・管理	継続	A	○	○			
		Wi-Fiスポットの整備	継続	A	○			○	
		ネット予約・決済環境の整備促進	継続	C	○	○	○	○	
		SNSや町HPを活用した誘客戦略	新規	A	○	○			
	観光交通基盤を整備・活用します	季節運行バスの利便性向上	継続	B	○			○	
		小山PA/足柄SA周辺の整備	継続	B	○				
		ユニバーサルデザイン化・サイン見直し	継続	A	○				
	広域連携を推進します	広域ネットワークによる取り組みの推進	継続	A	○	○			
		金太郎にちなんだ交流の活性化	継続	A	○	○			
	小山町ブランドの充実を図ります	“小山町”をエリアとしてアピール・ブランド化	継続	B	○	○	○		
		道の駅・足柄SA・小山PAにおける販売促進・PR	継続	A	○		○		
		特徴ある商品を育成	継続	A	○		○		
		インターネットを活用した販売促進	継続	A	○		○		○
		ロケ地を活用した特産品の販売促進	継続	A	○		○		
		ご当地グルメの開発	継続	B	○		○		

小山町役場 経済産業部 商工観光課
〒410-1395 静岡県駿東郡小山町藤曲 57-2
Tel:0550-76-6114 Fax:0550-76-2795
Mail:kankou@fuji-oyama.jp